

令和2年度第2回 倉敷市地域福祉基金運営委員会

日 時 令和3年2月9日（火）14時00分～14時34分

会 場 倉敷市役所本庁舎6階 601会議室

出席者

委 員 植田委員（会長）、木村委員（監事）、諏訪委員、中桐委員、中野委員、新垣委員、平岡委員、山崎委員（監事）

事務局 保健福祉局）野田副参事
保健福祉推進課）佐藤課長代理、渡辺主幹、佐藤主任、山砥主事

欠席者 雨坪委員（副会長）、田野委員

傍聴者 なし

議事内容（要旨）

1 開 会

委員8名の出席により、倉敷市地域福祉基金運営委員会規約第9条第2項の規定に基づき、会議が成立していることを確認し、開会を宣言した。今回の会議から、難波委員の後任として保健福祉委員会委員長新垣委員が委員に就任したため、委嘱状の交付を行い、委員全員及び事務局が自己紹介を行った。規約に基づき、会議の進行を植田会長に依頼した。

2 議 事（発言者：◎会長 ○委員 ■事務局）

（1）令和2年度事業の報告について

■ 資料に従い説明を行った。

*****承認*****

（2）令和3年度事業計画（案）について（ア 令和3年度倉敷市地域福祉基金事業計画案について）

■ 資料に沿って説明を行った。

○ 日常生活用具給付事業計画（案）で、全体の予定台数が98台となっているが、年間でどのくらい利用されるのか。

■ 年度によって増減があるが、令和元年度の実績は、合計で36台である。購入される品目により、基準年限、耐用年数のようなものが違うので、年度ごとで合計台数に増減がある。

◎ 品目によって、買い替えというか、耐用年数が違うということである。

○ しらかべ号の件だが、予算要求をされているということで、コロナの収束状況に合わせて動けるようにということだが、やはり移動やイベントを開催することで、触れ合うと感染のリスクが高まる。先ほど代替案と言われていたが、今までのやり方は当面は少し難しいと思うので、ボランティアの方の福祉についての意識の向上を図るということであれば、何かボランティアの方に対して、福祉についての意識が向くようなセミナーなど、違った観点で検討された方がよいと思う。せっかく予算要求されて、実行していくことを考えるのであれば、今までやってきた流れとは変えて、今年度だけなのかといったことも検討して、できるのであればしたらどうかという提案をさせていただく。

■ しらかべ号実行委員会とも協議を進めながら検討していく。

◎ 事務局との打ち合わせの時にも、委員の皆様からいい意見があればという話をしていた。先程説明が

あったように、障がいのある方は特に感染に気を付けなければならない状況にあるが、それ以上に外出ができない状況が続いていると思うので、交流も何かしらの方法で実現できないかと思うが、聴覚や視覚に障がいのある方はオンラインという形も難しいということで、なかなか良い方法やアイデアが出なかった。福祉についての意識の向上という意味では、セミナーという形で、これまで長年活動されてきたことがあると思うので、そういったところも振り返りながら、これまでの活動報告や写真、感想などをまとめていただき、こういう活動をしているということを知っていただくことも非常にこの事業の意義や目的に叶っていると思う。

- 私は、高齢者のいきいきサロンをやっているが、なかなかコロナ禍で集まることができないというところで、どうしたらいいかを考えて、集まれないなら私たちが短時間で訪問したらどうかと思い、今年までのアルバムなどを一つの広報紙に、啓発のようにして、それを持って訪問している。また、今年年賀状を出したら、なかなか年賀状をいただくことがない高齢者の方に喜ばれたので、集まれないのなら違った方向で振り返ってみるというのは大変いいと思う。
- ◎ 地域でもそういう活動をされているということですね。今年度は中止だったが、来年度に向けて、何かしらい形で、交流や啓発の検討をお願いできたらと思う。
- ◎ 今年度、休止していた団体がいくつかあったが、その団体は来年度から再開ということになるのか。
- まだ団体から詳しい話等をお伺いできていないが、今のところは、休止されていた全団体が来年度から活動を再開される予定である。また、現在休止している団体について、今年度の助成金の交付はなかったが、コロナの状況を見ながら中止されたり再開されたりしているので、全力で活動されることは難しいかもしれないが、状況に応じて活動を実施していただければと思う。
- ◎ 県外では緊急事態宣言が出ている地域もあるので、まだ状況としては先が見込めないと思う。

*****承認*****

(2) 令和3年度事業計画(案)について(イ 令和3年度助成事業の募集計画について)

- ◎ 来年度から申請書の押印を省略するということである。
- ◎ 社会福祉協議会等との連携で広報も進めていくということで、地域でも地域支援事業で総合事業等も進めているので、コロナ禍で難しいとは思いますが、コロナで仕事を無くされた方など、また違った意味で生活が大変な方も地域で出てきているかもしれないので、そういった意味では、新たなニーズに基づいた活動も、状況が少し落ち着けば地域の中で生まれてくるのではないかと考える。

*****承認*****

3 閉会

以上により、議事を終了